

科目名	中国語		英文表記	Chinese		2017/3/14	
科目コード	5011						
教員名:	庄子一成					作成	
技術職員名:							
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
全学科			5年	選	学修	2単位	講義
科目目標 【MCC目標】	中国語学習を通し、中国語と中国語圏の現状を理解するとともに、実際場面で中国語で簡単なコミュニケーションを取れる能力を身につける。もって外国での仕事に臆することなく従事する気概を育てる。[IX-G] 未来の多くの可能性から技術の発展と持続的社会的な在り方を理解し、自己のキャリアを考えることができる。						
総合評価	授業に対する取り組み(自学自習を含む)40%、読み20%、話す20%、聴く(質疑応答)20%の割合で評価する。実技主体なので定期試験は行なわない。積極的な授業に対する参加を重要視する。						
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	40%	① 中国語圏をめぐる現状と中国語のしくみを理解し、練習問題の解答ができる。	受講態度と自学自習(練習問題)の実施状況を授業中に確認する。	授業時の熱心さと積極的な質問等により練習問題の解答ができる。	積極的な受講態度と練習問題の解答ができ、基本的な事項を理解している。	誠実な受講態度と練習問題への取り組みで、基礎的な事項を理解している。	
	20%	② 読み。文の基本的な構造を理解したうえで、正確な発音で読むことができ、それが聞いて分かるものとする事ができる。	教科書を読むことで評価する。	文や単語の切れ目に注意し、大声で自信を持って、正確な発音で読める。聞いて内容がわかる。	文や単語の切れ目に注意し、正確な発音で、聞いてわかるように読め、発音の基本はできている。	正確な発音で読め、発音の基礎は理解している。	
	20%	③ 話す。適切なスピードで、スムーズに読むことができ、自己紹介も聞いてわかるように話せ、話す基本ができている。	教科書の指示されたページの音読、又は自己紹介等で評価する。	読みがスムーズで、自己紹介も聞いてわかり、話す基本ができている。	読みがスムーズで、自己紹介も概ね聞いてわかり、話す基本を理解している。	読みが聞いてわかり、自己紹介もなんとかわかり、話す基本は理解している。	
20%	④ 聴く(質疑応答)。質問を聞き取ることができ、適切に解答することができる。対話の基本ができている。	質問に対し聞き取り、回答できるか確認することで評価する。	聞き取りが完全で回答も概ね良好にできる。対話の基本ができている。	聞き取りも答えも概ね良好にできる。対話の基本を理解している。	聞き取りが何とかできる。対話の基礎ができている。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	◎			○			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	0	100	100	
中国語・中国語圏理解	①				40	40	
読み	②				20	20	
話す	③				20	20	
聴く(質疑応答)	④③				20	20	
授業概要、方針、履修上の注意	<p>教養を基本にし、普通話(中国大陸で普及している)と簡体字を教授する。</p> <p>ピンイン(中国式ローマ字)による読みを重視し、視覚によらない、聴く、話す力をつける。</p> <p>香港・台湾で使われている正字(繁体字)や語彙も適宜加え、スムーズなコミュニケーションが取れるようにする。</p> <p>後半は可能な限り中国語で行うことで、コミュニケーション能力の向上を図る。</p>						
教科書・教材	<p>「これで大丈夫中国語」(致良出版社)使用。</p> <p>ウォーミングアップ講座、発音、ヒヤリングテスト、自己紹介など、プリントで補充する。</p>						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1		2			
2		2			
3		2			
4		2			
5		2			
6		2			
7		2			
8	前期中間試験(行事予定で週変更可)	2			
9		2			
10		2			
11		2			
12		2			
13		2			
14		2			
15		2			
期末	期末試験	[2]			
16	ウォーミングアップ講座	2	中国語圏を取り巻く現状と中国語のしくみを理解できる。	教科書該当部分の復習	
17	発音	2	中国語の発音、その特徴を理解し、発音できる。	教科書該当部分の復習	
18	初対面の会話	2	構文「〇〇は～～です」名詞述語文の理解と、応用ができる。	教科書該当部分の復習	
19	家族紹介 小テスト	2	「〇〇に」、「有る」、「いくつ」の理解と応用ができる。 第1課の音読	教科書該当部分の復習	
20	レストランで	2	「～～したい」、「～～の」の理解と、応用ができる。	教科書該当部分の復習	
21	意見を尋ねる	2	構文「〇〇はどんなである」形容詞述語文の理解と、応用ができる。	教科書該当部分の復習	
22	買い物	2	物の数え方、価格、「いくら」の言い方ができる。	教科書該当部分の復習	
23	郵便局で 中間テスト	2	構文「〇〇は～～する」動詞述語文、動作の場所と目的の言い方の理解と応用ができる。 第5課の音読	教科書該当部分の復習	
24	汽車に乗る	2	時刻の言い方、理由の尋ね方ができる。	教科書該当部分の復習	
25	スケジュール	2	日程の説明、月日、曜日の言い方、過去の事実を言える。	教科書該当部分の復習	
26	誘いと約束 ヒヤリングテスト	2	「～～できる」と場所の言い方の理解と、応用ができる。 質問のプリントを事前に配り、中国語で質問し答えを聞く	教科書該当部分の復習	
27	過去の経験	2	「～～したことがある」の理解と、応用ができる。	教科書該当部分の復習	
28	動作行為の頻度	2	「〇〇に～～回／度／時間・・・する」と「～～が好きだ」の理解と、応用ができる。	教科書該当部分の復習	
29	自己紹介	2	自己紹介のプリントを配布し、音読。又はこれに習って自己紹介文を書く。	教科書該当部分の復習	
30	総合評価	2	自己紹介のプリントを読む。又は自己紹介する。	教科書該当部分の復習	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	語学は復習が必須である。毎日CDを聞き復習をする。またテキストの1課ごとの練習問題を解くこと。次の授業で確認する			週1.8時間×15回	
②	少なくとも毎日10分音読の練習をしてほしい。			週2時間×8回	
③	前半7週間毎日5分発音練習を行う。発音は全ての(読む、聞く、話す)の基本である。			週2時間×7回	
④③	聴く力をつけるため、練習帳のCDの聞き取りを行う。			週0.5時間×6回	
備考欄					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)